

先月の活動（12月）

日本語教室 12/6(M), 13, 20 (3回)
 12/17(水) 草津市多文化共生推進プラン策定委員会（恩地）
 12/27(土) 新年イベント打ち合わせ（恩地、内田栄、伊吹、小春）
 12/27(土) 教室開放日

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略

今月の活動（1月）

日本語教室 1/10(M), 17, 24, 31 (4回)
 1/24(土) 新年イベント



参加人数（12月）

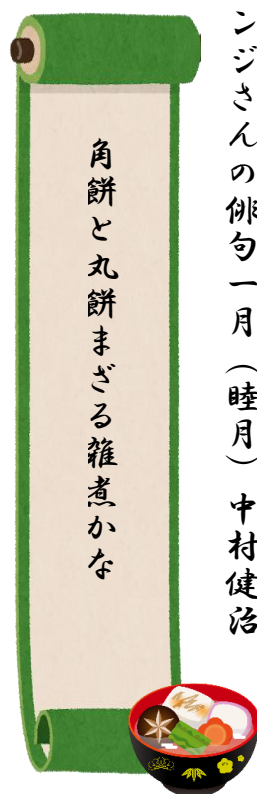
	12/6	12/13	12/20	12/27
学習者	17	25	32	2
スタッフ	23	26	23	1

会員の動き（12月）

〈入会〉なし
 〈休会〉なし
 〈退会〉島袋由紀美
 〈賛助会員〉なし

みんなの感想 11月16日の遠足(2P 参照)

- ◆ 散策は全部楽しかったです。いちばん面白かったのは、鹿が人たちをせんべいを求めて追いかけていたことです。(サイタ マルセロ タカシ)
- ◆ 先日は観光地を見学し、先生方や皆さんと話すことができ、本当にありがとうございます。今回の経験があったおかげで、日本の生活や仕事をより楽しめるようになりました。先生方がいつもお元気でありますように！！(グエン クアン ミン)
- ◆ 遠足は私にとってすごかったのと思います。いい天気、週末の秋の気候、先生たち、息子と一緒に歩きながら美しい景色を見たりおしゃべりしたりしました。前から杉山先生が手をひっぱって、後ろから息子が足を押してやっと柱ぐりを通ることができたのは忘れないです。(李 芳林)
- ◆ 楽しかったです。教室で、あまり皆様とお話する機会がないのでとても良い一日だったと思います。鹿に追っかけられて少し困ったけど、周りの皆様はそれを見て楽しんでいたので面白かったです。(新井清美)
- ◆ しかがたくさん見られて楽しかったです。でも、しかにかまれそうになってとってもこわかったです。自分が知らなかったことが見られて楽しかったです。次の遠足が楽しみです。(新井カリナ)
- ◆ めっちゃ楽しかったです。景色がきれいだし、しかも可愛いし、写真をたくさんとりました。(NGUYEN VAN DAI)
- ◆ たのしくて、しかたちにビスクケットをあげて、かれらがおいかけ はしるのを みるのは、とてもおもしろかった。また、ブロンズと木のぞうを みるのもすきでした。ほんとうに いんしょうてきでした。(パネッサ)
- ◆ いっぱい かわいい しかが いました。あのおてらは とても大きいです。いっぱい かんこうきやくが いました。(イワナガ グスタボ セイジ)
- ◆ はい、たのしかった。大きな寺へ行って、きれいなぶつぞうを たくさん見ました。(キタガワ エルトン)
- ◆ たのしかったです！オリーブの先生たちや、かぞくと一緒に行けてよかったです！杉山先生とインドネシアの生徒さんは私の孫にやさしく接してくれました。本当に感動！また奈良行きたいよ！（中川智絵）



ケンジさんの俳句 一月（睦月） 中村健浩

参加者に次回どんなところに行きたいか聞きました。回答では、「自然のきれいなところ」に人気あり。「歴史のある古いところ」にも、自然や文化関係の施設にも〇がついていました。〇が全然ついていない人たちはどこでもいいから行きたいということかな。さて今年はどこへ行こう？

編集後記：松の内も過ぎるとお正月気分も抜け、1年の目標はたてたものの早くも三日坊主になる懸念が生まれて来る頃ではないでしょうか（わたしだけ？）時々には声に出して新年の誓いを唱えるのもいいかもしれません。「今年もオリーブがんばるぞー」ってね。(MO)



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu/>

2026年
 1月号
 2026. 1. 24 発行
 第285号

あたらしい なかま を しょうかいします(12月入会)



ファン フック ティエット
 (ベトナム)



マキヤマ エドゥアルド
 イオシロ (ブラジル)

謹賀新年



皆様が笑顔で日々を過ごされますように
 世界が平和でありますように
 オリーブが友情を育む場でありますように
 今年もよろしくお願い申し上げます
 代表 恩地美和

中川先生のへんてこ日本語 C 調言葉 183



「おいしい」「楽しい」「おかしい」などのように、語末の「い」を「う」と発音するのを「C 調言葉」と言う。もちろん本来の日本語発音ではないが、一種の西洋かぶれの匂いがする。

「C 調言葉」でネット検索してみると、有名グループのボーカリスト KK 氏の動画がズバリと並んでいた。なるほど分からなくもない。たまたま流れてきた青森出身の男性歌手 IY 氏も、そんな発音をしていた。東北地方特有の発音、あるいは活舌が悪いためとも考えられる。

「うすい」という音はそもそも日本語にはない。若い人なら英語学習のおかげで容易に発音できるが、老人には「C」を「シー」としか発音しない人も多い。

大学共通テストの監督マニュアルに、「選択肢 A B C D の中から一つ選んで・・・」を「エービーサイイー」と読まないよう、注意書きがしてあった。受験生が笑うからというのがその理由である。「A B C」は、英語ではなく、外来語としてカタカナ発音で「エービーシー」と読まなければならないようである。日本人の英語発音が一向に良くならないのは、そんなカタカナ発音から抜け切れない、悲しい事情がある。

「おいしい」「楽しい」などは、我々の感情を表す形容詞で、「うすい」で終わるものの多いことに気づく。「おいしい」「楽しい」と発音することで、若者だけに共通の感情を表しているのだろうか。筆者は逆に、本来の感情を遊び心でしか表出していないように感じる。「楽しい」こと、「悲しい」ことを率直に表現できず、みじめな「寂しい」思いがする。

国際教育企画顧問 中川良雄

快晴に恵まれた秋の遠足



11/16、この日は雲一つない日本晴れ。参加者が多いので、雨天だとちょっと困るなと思っていましたが、みごとに快晴に恵まれました。参加者は40名(大人36人、小学生2人、幼児2人)と当初の予想より大幅増。JR奈良駅で点呼を取った後、オリーブの旗を持った遠足幹事の2人でグループの前後を挟んで三条通りを東大寺方面へ向かいました。途中、興福寺の前で全員で記念撮影。歩いていると汗ばむほどのポカポカ陽気でした。

中谷堂のお餅の誘惑や奈良公園で鹿と戯れたりとのんびり散策しながら歩いていたら、東大寺に到着したのはすでに12時半ごろ。日曜日もあってか、大仏殿は観光客で大混雑。集合場所、時間だけ決めて個人で見学してもらいました。その後、猿沢の池まで戻って周囲の広場で皆でランチタイム。ここまでで8,000歩ほど歩いていたので皆さん、かなりお疲れだったと思います。

昼食後は帰りの電車に合わせて集合時間を共有しましたが、ほとんどの参加者は小グループで別行動するということが実質、昼食後解散に近い形となりました。

きっと、皆さんもっと寄りたところがあったのでしょう、初めて奈良に来た人も多く、お土産も買っていなかったでしょうからね。最後は10名ほどで近鉄電車で帰路につきました。

この日の夜は皆さんぐっすり眠れたに違いありません。お疲れさまでした。(豊村)



わたしの地元 #3 HaNoi デインチャン

ハノイ 愛する街、平和の街



私は日本に来て20年以上になります。これまでいくつもの都市で暮らし、働いてきました。でも、毎年必ず一度は生まれ故郷のハノイに帰りたくなります。「ハノイ」という名前は、漢字で「河内」と書き、「川の中にある街」という意味です。「Red River」と言う川はハノイをはじめ、ベトナム北部を流れ、肥えた土を運び、人々の暮らしを支えてきました。川の周りには、今も有名な伝統的な職人の村がたくさんあります。バット・チャンの陶器、ハ・ドン・シルク商品の村、ヴォン村の若草餅、チェム村のソーセージ、ドン・ザム村の銀細工、ゴー・ザー村の銅器など。また、竹細工の工芸品は海外でも人気があります。

私は歴史が好きで、ハノイの歴史はいつも私の心の中にあります。ハノイは、日本のいろいろなところに似ていると思います。広島のように戦争で大きな被害を受けています。爆撃機による空襲を受けました。京都のように多くの寺院があり、古い街並み、文化の伝統を守っている町です。さらに、ハノイは首都として、政治・経済の中心地で、東京にも似ています。何より、私はハノイの人々を愛しています。ハノイは国の中心であり、ベトナム人の最も美しい姿を象徴しています。1999年、ユネスコ(UNESCO)はハノイを「平和のための都市」に認定しました。安全な首都として、多くの大統領や首相がハノイを訪れました。オランダの前首相は還剣湖(ホアンキエム湖)のそばで自転車に乗りました。オバマ元大統領は人気のブン・チャー店に入り、地元の人と一緒に食事をしました。フランスの大統領も街を歩き、笑顔で人々と語り合いました。

ハノイには、日本と同じように春夏秋冬の季節ごとに楽しめる料理がたくさんあります。温かい料理から冷たい料理、甘いものから辛いもの、新鮮な果物からドライフルーツまで、さまざまです。有名な料理には、ブン・チャー、生春巻き、バイン・クオン(蒸しもち米ロール)、チャー・サウ(デザート)、西湖の蓮茶。特に、ハノイのフォーは単なる郷土料理ではありません、ベトナムの文化そのものです。味わい深く、食べ方も繊細で、ハノイの人々の心のように深い味わいがあります。秋にハノイを訪れたら、路上の花売りの風景も見逃せません。伝統的な帽子を被った売り手の明るい笑顔は美しく穏やかです。ハノイの人々は常に家に美しい花をよく飾ります。毎日、家族の愛を感じ、子どもたちは美しいものを愛し、より優しい心を持つようになります。遠くにいる人も、ハノイを思い出して帰りたくなる…そんな暖かい街です。最後に私の大好きな歌の歌詞で、愛するハノイを締めくくります。



私が生まれた場所、ハノイ
私が生まれた日、燃えるような一日
小さな路地と街、そこに私の家があった…
…サッソウの花の香りのように、甘く魅惑的
私の足跡は多くの道をたどった
いつか帰る日を願いながら、
ハノイよ!



